

令和5年度(2023年)第5回学校関係者評価委員会 報告書

学校法人湘南ふれあい学園茅ヶ崎リハビリテーション専門学校、学校関係者評価委員会は、令和5年6月2日に「令和5年度(2023年)自己点検・自己評価報告書」に基づいて、学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

令和6年6月12日

学校法人湘南ふれあい学園

茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

委員長 加藤修一

1、学校関係者評価委員会

日時 令和5年6月2日 14時～15時30分

場所 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 会議室

参加者

学校関係者評価委員

委員 三橋直樹	関連業界・地域関係者	茅ヶ崎市南湖在住
委員 鳥羽芳弘	関連業界関係者	社会福祉法人麗寿会 事務責任者
委員 長坂明	非常勤講師	教育機関
委員 小林俊介	卒業生	元専任教員

学校

加藤修一	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	副校長
古谷実	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	教務部長
岡崎浩二	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	理学療法学科 学科主任
高橋知之	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	作業療法学科 学科主任
岩淵裕	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	言語聴覚学科 学科主任
藤田学	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	事務責任者
藤原英之	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	事務課主任

3、自己点検報告と評価報告をもとに学校関係者評価・意見

①教育理念・目標

学生は入学前に十分に学んで来ており、入学後も目に触れており浸透できている。

②教育活動

新カリキュラムへの移行は遅滞なく遂行している。

③学生受入れ

職業理解不足と基礎学力不足が退学につながっている反面、定員確保は最重要課題である。

④教職員組織

最低限の必要人員は確保できており、運営に支障はない。

⑤施設・設備等

ICT化はやや進行した。令和6年度より全学生の使うシステムを導入予定。空調に問題あり。

⑥学生生活支援

奨学金・就学資金の支援の希望者は多くなり、家庭環境の複雑さが多様化している。

⑦管理・運営

学生募集については最大限の努力はしている。大学化問題に揺れた影響を受けている。